



大阪労働局発表
平成26年9月29日

担当	大阪労働局労働基準部安全課 電話 06-6949-6496
----	----------------------------------

墜落・転落災害撲滅へ

～大阪労働局が建設現場をパトロール～
ゼロ災・大阪「安全見える化運動」

大阪労働局（局長 中沖 剛）は、建設業における墜落・転落災害の撲滅を目指して、建設現場パトロールを実施する。

対象現場 : 府内の建設工事施工現場 20現場(予定)
出発式日時 : 10月7日(火) 9時30分から
出発式の場所 : 大阪合同庁舎第2号館 4階 共用1会議室

大阪府下における本年8月末日現在の休業4日以上死傷災害件数は、4,529件、対前年同期比で3.5%増加している。なかでも、建設業にあっては、478件発生し、10.5%の増加で、業種別では最も多い増加率となっている。

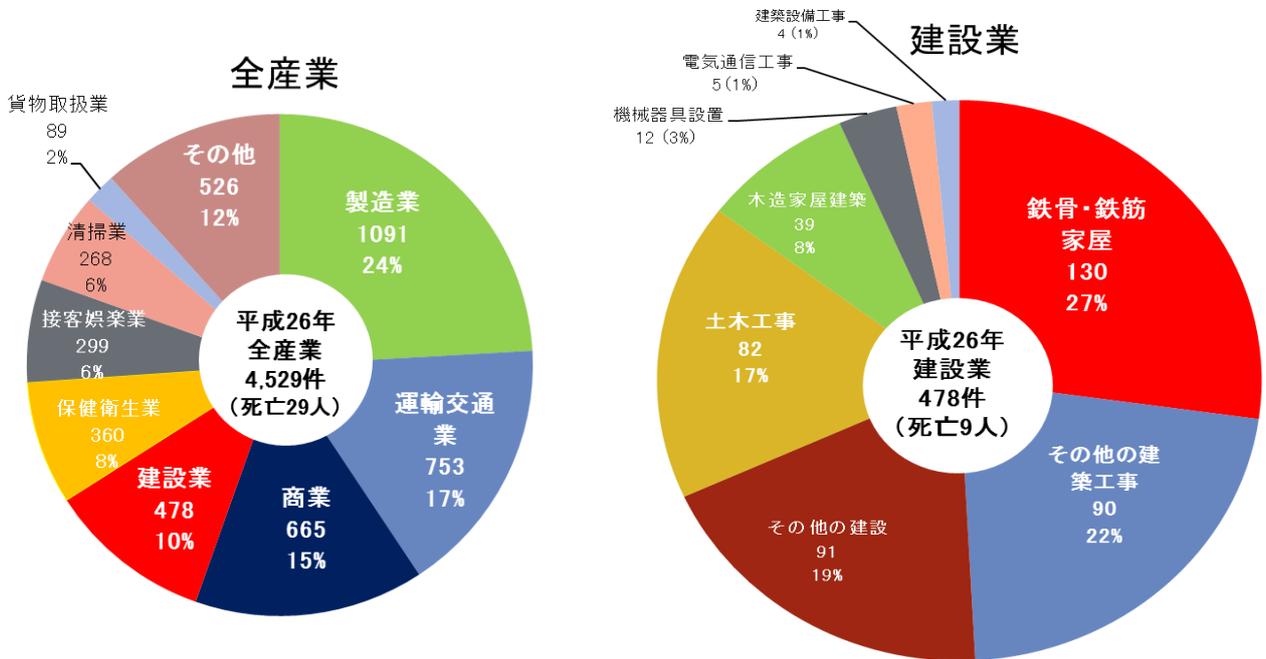
建設業での事故の型別では、墜落・転落災害が174件と最も多く、全体の36.4%を占め、近年高止まり傾向が続いている。

このため、労働災害のさらなる減少と墜落・転落災害の撲滅を目指し、「ゼロ災・大阪『安全見える化運動』」の一環として、今年度から新たに取り組んでいる安全帯の確実な使用を図る「命綱GO活動」（いのちつながり）を展開し、建設業労働災害防止協会大阪府支部と連携して、従前よりパトロール現場を増やして実施することとした。（別紙参照）

墜落・転落による労働災害の原因は、手すりの未設置や安全帯の未使用であり、中には、安全帯の着用さえしていない事例が認められた。このため、啓発用リーフレットを各現場に配付し、周知を図っていくものとする。

建設業における労働災害発生状況

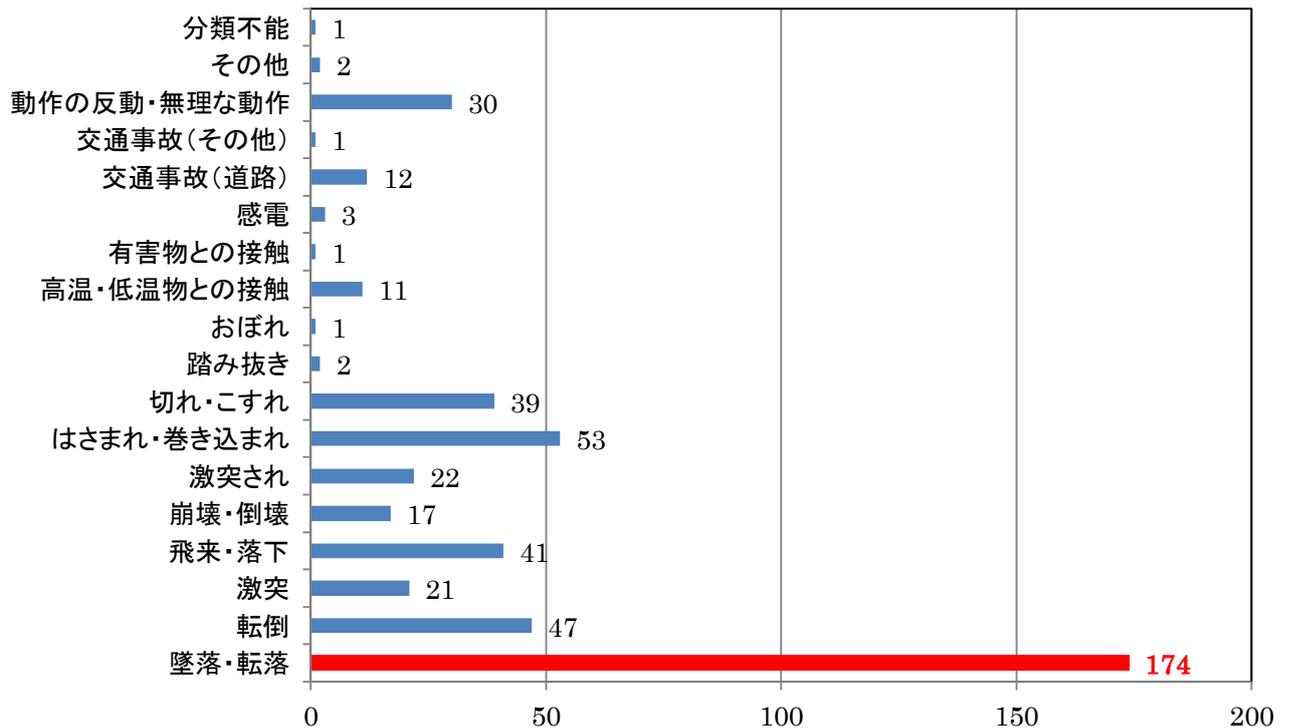
平成26年 業種別 労働災害発生状況(大阪)
(休業4日以上死傷災害)



労働者死傷病報告による(平成26年8月末日現在)

平成26年 事故の型別 労働災害発生状況 (大阪)

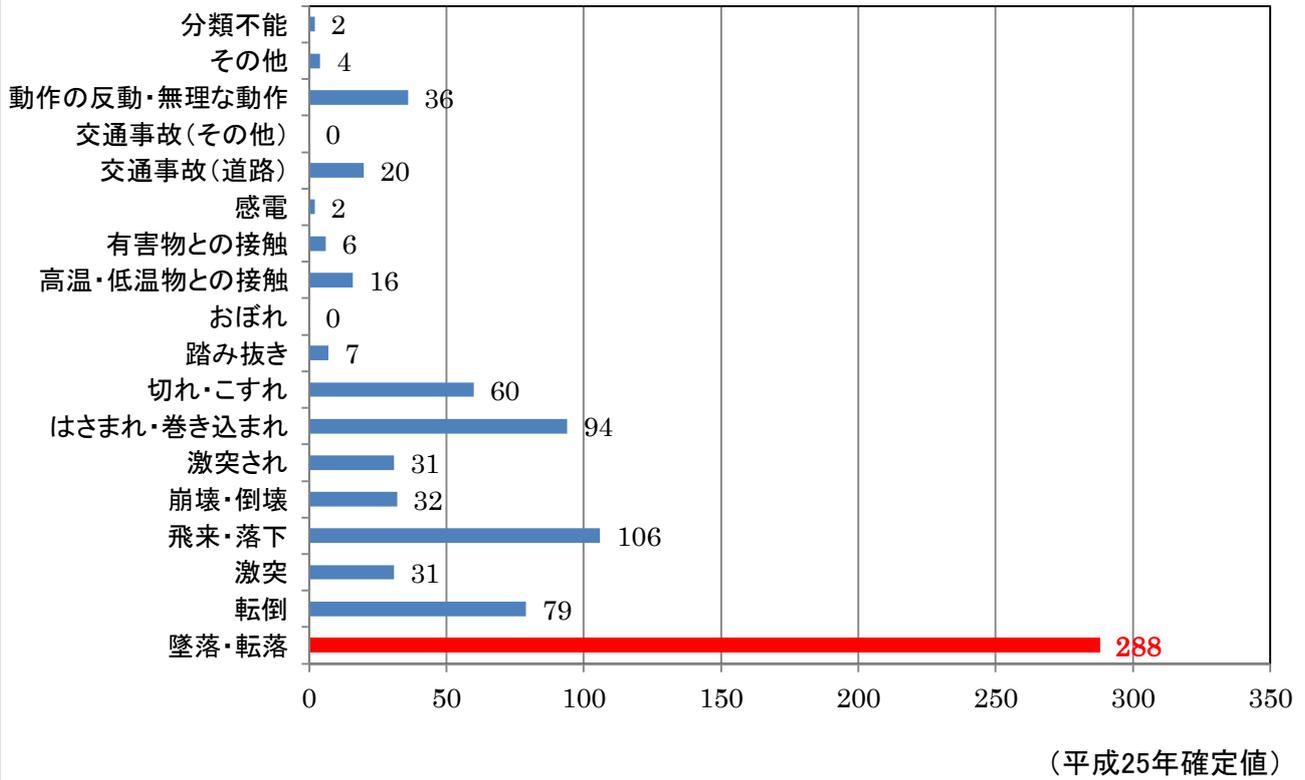
合計478件



(平成26年8月末日現在)

平成25年 事故の型別労働災害発生状況（大阪）

合計816件



平成24年事故の型別労働災害発生状況（大阪）

合計877件

